

NITE保有特許一覧

	登録番号	出願日	特許査定日	発明の名称	説明	出願人/権利者
1	特許7116961	2019/3/22	2022/6/15	植物用抵抗性誘導剤	植物が本来持つ病原体への免疫を活性化することにより病気から植物を守る農業の一種である「植物用抵抗性誘導剤」を微細藻類から生産する本発明は、これまで難しかった生物由来の植物用抵抗性誘導剤の生産安定化を可能にします。	パナック株式会社 独立行政法人製品評価技術基盤機構
2	特許7001712	2018/11/29	2021/11/30	ファインバブル除去方法及びファインバブル除去装置、並びに、気泡径分布測定方法及び気泡径分布測定装置	対象液体中のファインバブルを効率よく減少させることができる方法及び装置を提供する本発明は、従来できなかったファインバブルと固体粒子及び液体粒子とを識別しファインバブルを精度よく測定することを可能にします。	一般社団法人ファインバブル産業会 株式会社島津製作所 独立行政法人製品評価技術基盤機構
3	特許6917019	2018/3/1	2021/5/26	MALDI-TOF MSを用いるパチルス・セレウス種及びその近縁種の識別及び／または同定方法	リボゾームタンパク質をバイオマーカーとし、マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析（MALDI-TOF MS）法を用いて、病原微生物の一種であるパチルス・セレウス種とその近縁種を識別・同定する本発明は、病原性を有するパチルス・セレウス種を迅速かつ正確に識別・同定することを可能にします。	マルハニチロ株式会社 独立行政法人製品評価技術基盤機構
4	特許6103518	2012/11/30	2017/1/20	揮発性有機塩素化合物の脱塩素化能を有する新規微生物およびその利用	微生物による、塩素化エチレン・エタン類で汚染された環境の浄化技術に関する特許。新規な塩素化エチレン・エタン類分解微生物とその分解を促進する微生物とを用いた浄化技術を提供するものです。この技術を用いることにより、浄化期間の短縮やコスト削減が期待されます。（令和3年度土木学会環境賞を受賞 (https://www.nite.go.jp/nbrc/information/release/doboku_gakkai_20220621.html)	大成建設株式会社 独立行政法人製品評価技術基盤機構
5	特許4586164	2004/3/2	2010/8/2	麹菌由来ホスホリパーゼA2	食品工業や医薬開発に広く活用できる麹菌酵素の特許。麹菌は米国FDAのGRAS(Generally Recognized as Safe)リストに掲載されているため、安全審査に要する費用と期間が抑えられるというメリットがあり、本特許は食品加工への活用に優位性があります。	独立行政法人製品評価技術基盤機構 独立行政法人産業技術総合研究所 独立行政法人酒類総合研究所
6	特許4574245	2004/6/25	2010/7/23	麹菌由来の細胞壁分解新規酵素の遺伝子、及び該酵素の製造方法	本特許で特定した麹菌の遺伝子あるいは酵素該蛋白質を用いることで、β-1, 3-グルカンの安全かつ効率的な低分子化を達成し、抗腫瘍活性などで注目される水溶性β-1, 3-グルカンおよびこれを含む食品の生産性を向上することが期待できます。	独立行政法人産業技術総合研究所 独立行政法人製品評価技術基盤機構 独立行政法人酒類総合研究所